

令和4 年度第1 回ヨコハマe アンケート 市内の景観や都市デザインに関するアンケート

実施期間 令和4年4月8日（金）から4月22日（金）

事業所管課 都市整備局 都市デザイン室、景観調整課

回答者数 1,821人（回答率：42.6%）

【参考】e アンケートメンバー数 4,268人（4月8日時点）

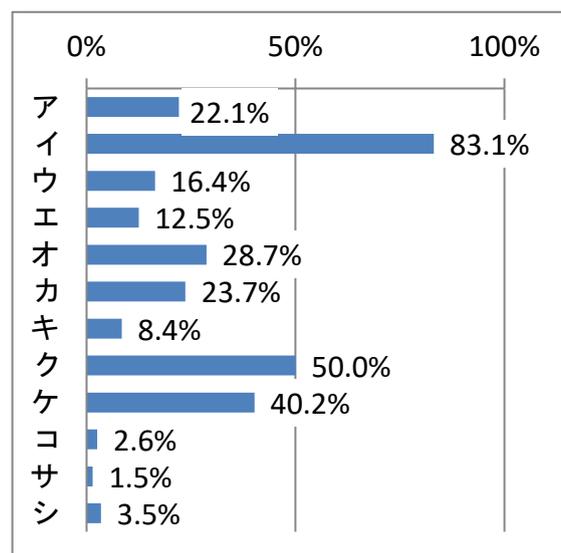
年代別、横浜市内在住・在勤・在学別の回答者構成比

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	計
横浜市内在住	8 (0.4%)	30 (1.6%)	160 (8.8%)	351 (19.3%)	525 (28.8%)	391 (21.5%)	317 (17.4%)	1,782 (97.9%)
横浜市内在勤	0 (0.0%)	1 (0.1%)	2 (0.1%)	6 (0.3%)	11 (0.6%)	7 (0.4%)	2 (0.1%)	29 (1.6%)
横浜市内在学	5 (0.3%)	5 (0.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	10 (0.5%)
計	13 (0.7%)	36 (2.0%)	162 (8.9%)	357 (19.6%)	536 (29.4%)	398 (21.9%)	319 (17.5%)	1,821 (100.0%)

Q1 あなたが横浜の魅力だと感じるものを3つ選んでください。
※「サ 特にない」を選択した方は、他の回答を選択しないでください。
(3つまで選択可)

n = 1,821

ア	食べ物	22.1%	402
イ	街並み・景観(夜景を含む)	83.1%	1,514
ウ	自然	16.4%	299
エ	イベントやお祭り	12.5%	228
オ	テーマパーク・動物園などの娯楽施設や博物館などの文化施設	28.7%	522
カ	百貨店やショッピングモールなど大型商業施設	23.7%	431
キ	身近な商店街や特色のある個店	8.4%	153
ク	歴史・伝統	50.0%	911
ケ	交通アクセスが便利	40.2%	732
コ	教育・福祉などの行政サービス	2.6%	47
サ	特にない	1.5%	27
シ	その他	3.5%	63



その他(抜粋)

区ごとに特色があり、利便性の高い街でありながら自然の豊かさも実現しているところ。

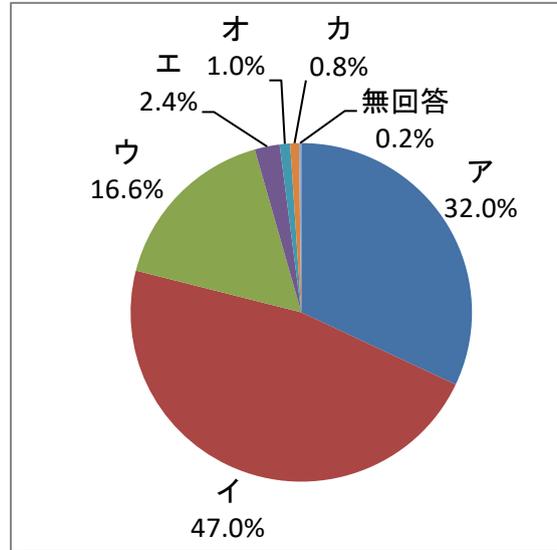
魅力的な企業や先進的な取り組みなどの経済活動

海山があり起伏に富み景色が美しい

Q2 現在の横浜市全体の景観について、総じてどう感じますか。
(単一選択)

n = 1,821

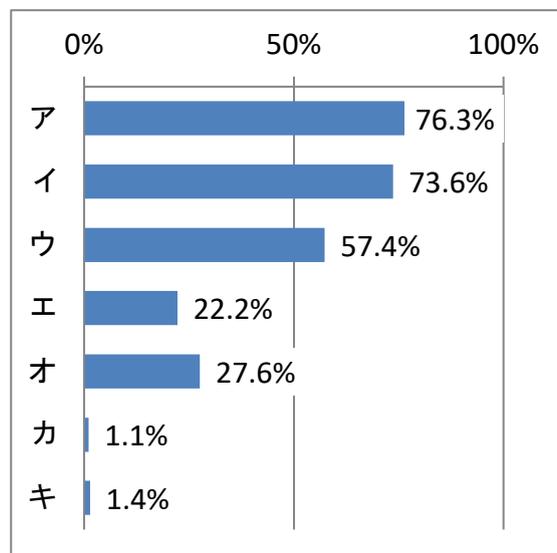
ア	良い所が多い	32.0%	583
イ	どちらかというと良い所が多い	47.0%	855
ウ	良い所と悪い所が同じくらいある	16.6%	303
エ	どちらかというと悪い所が多い	2.4%	43
オ	悪い所が多い	1.0%	18
カ	わからない	0.8%	15
無回答		0.2%	4
		100.0%	1,821



Q3 横浜市の景観が良くなることで、どのような効果・影響があると思いますか。
※「カ 特にない」を選択した方は、他の回答を選択しないでください。
(複数選択可)

n = 1,821

ア	地域への愛着が深まる	76.3%	1,390
イ	観光客が増える	73.6%	1,341
ウ	住む人が増える	57.4%	1,045
エ	働く人が増える	22.2%	405
オ	地価が上がる	27.6%	503
カ	特にない	1.1%	20
キ	その他	1.4%	26



その他(抜粋)

市民生活が活性化し、市民の心が豊かになる。

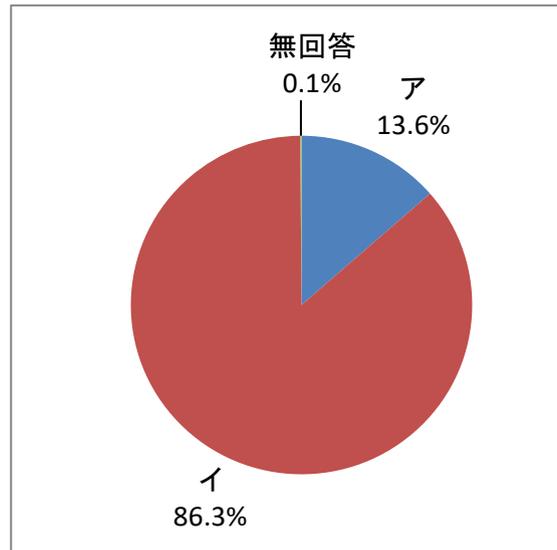
市には、景観よりもインフラ、特に住民に関わる各施設(区役所、選挙時の事前投票に使えるような公共施設)やITなどの整備に力を入れてほしい。外側ではなく、内側に目を向けて、地に足を付けてデザインして欲しい。

ポイ捨てなどが減り更に綺麗な街になる。治安も良くなる。

Q4 横浜都市デザイン50周年記念事業を知っていましたか。
(単一選択)

n = 1,821

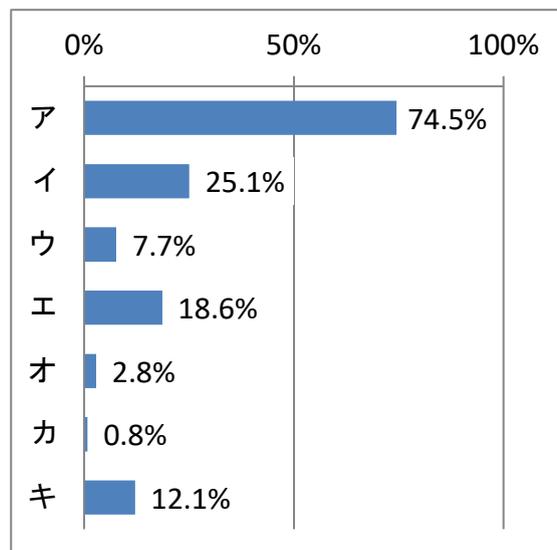
ア	知っている (⇒Q5)	13.6%	247
イ	知らない (⇒Q6)	86.3%	1,572
無回答		0.1%	2
		100.0%	1,821



Q5 Q4で「ア 知っている」と回答された方にお聞きします。何で知りましたか。
(複数選択可)

n = 247

ア	横浜市のウェブページ	74.5%	184
イ	市庁舎内での展示や告知	25.1%	62
ウ	都市デザイン室公式Twitter	7.7%	19
エ	新聞	18.6%	46
オ	雑誌	2.8%	7
カ	ラジオ	0.8%	2
キ	その他	12.1%	30



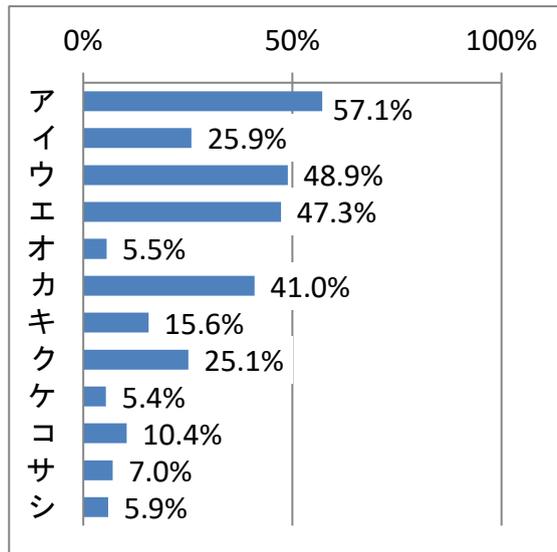
その他(抜粋)

馬車道の展示会
「都市デザイン横浜」展を観に行った。
知人

Q6 全員にお聞きします。
 交通利便性や生活支援施設等が充実していることのほかに、あなたが「住みたい・住み続けたい」と思う街はどのような街ですか。
 (3つまで選択可)

n = 1,821

ア	緑や海・川などの自然がある	57.1%	1,040
イ	スポーツや散歩・サイクリングなど体を動かせる場所がある	25.9%	471
ウ	街の歴史や文化が感じられる場所がある	48.9%	890
エ	街並みが美しい	47.3%	861
オ	農業や家庭菜園をできる場所がある	5.5%	101
カ	ショッピングや遊べる場所がある	41.0%	746
キ	カフェや飲食店がある	15.6%	284
ク	美術館やギャラリー等のアートに触れられる場所や音楽・ライブを楽しめる場所がある	25.1%	457
ケ	マルシェ等のイベントが開催されている	5.4%	99
コ	近所の人や仲間と交流する場所がある	10.4%	189
サ	ボランティア活動や働く場所(リモートワークを含む)がある	7.0%	128
シ	その他	5.9%	108



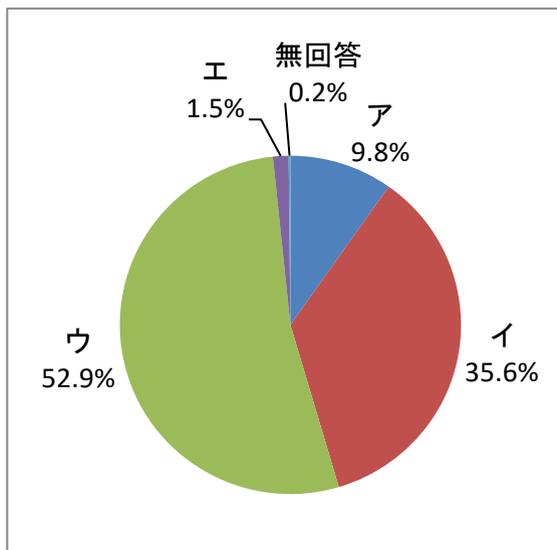
その他(抜粋)

散策、買い物などの生活システムが駅などの公共機関を拠点に散在している。
 子育て世代に優しい街。障害者福祉が充実している。
 雇用が多く様々な仕事や働き方ができる。オフィスが多い。街中に公園などの公共空間が充実している。他都市にはない個性的・特徴的な建築物や街並みがある。
 治安が良い

Q7 現在の横浜がより一層、「住みたい、働きたい、訪れたい」と思える街になるためには、どのような場所を魅力的にしていけることが重要だと思いますか。
 (単一選択)

n = 1,821

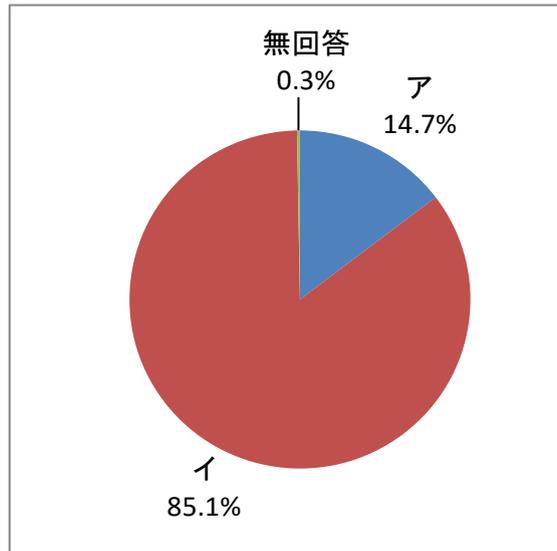
ア	都心部	9.8%	178
イ	各駅周辺	35.6%	649
ウ	生活に身近なエリア	52.9%	964
エ	その他	1.5%	27
無回答		0.2%	3
		100.0%	1,821



Q8 あなたは、横浜市のふるさと納税の寄附メニューに、横浜の歴史的建造物を守り生かすための歴史的景観保全活用事業があることを知っていましたか。
(単一選択)

n = 1,821

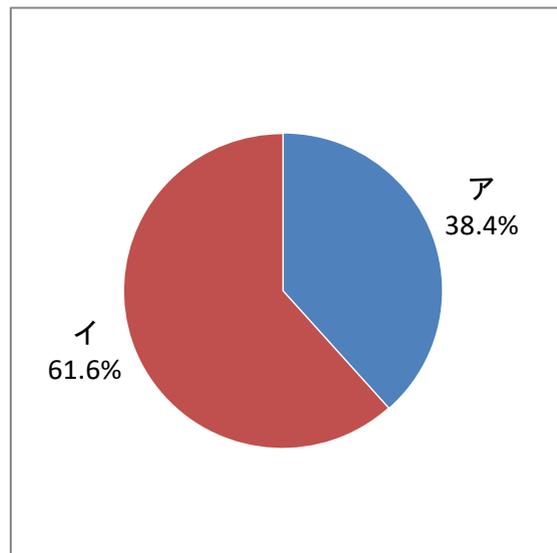
ア	知っていた	14.7%	267
イ	知らなかった	85.1%	1,549
無回答		0.3%	5
		100.0%	1,821



Q9 横浜市のふるさと納税は、横浜市民が納税しても税額控除の対象になります。あなたは、ご自分の住む自治体をふるさと納税の寄附先として選ぶことができることを知っていましたか。
(単一選択)

n = 1,821

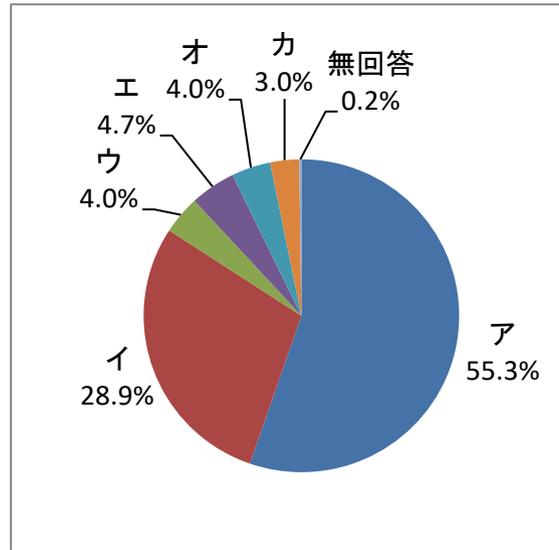
ア	知っていた	38.4%	699
イ	知らなかった	61.6%	1,122
無回答		0.0%	0
		100.0%	1,821



Q10 あなたは歴史的建造物が横浜らしい景観の創出や豊かな都市景観の形成に寄与していると思いますか。
(単一選択)

n = 1,821

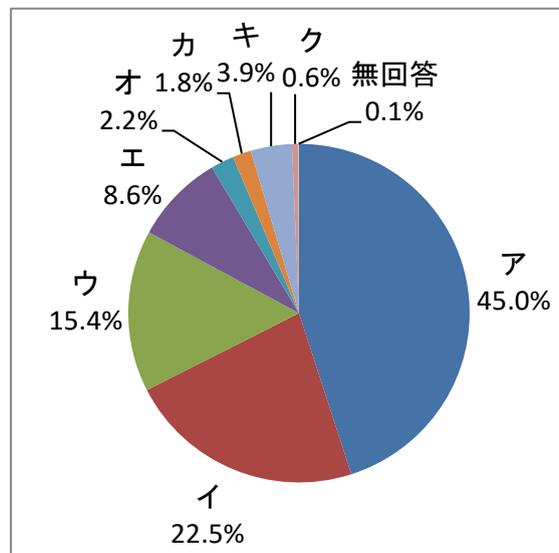
ア	寄与していると思う	55.3%	1,007
イ	どちらかと言えば寄与していると思う	28.9%	526
ウ	どちらかと言えば寄与していないと思う	4.0%	72
エ	寄与していると思わない	4.7%	85
オ	どちらとも言えない	4.0%	73
カ	わからない	3.0%	54
無回答		0.2%	4
		100.0%	1,821



Q11 あなたは、「横浜の歴史を物語る場所」と言われてどのような場所を思い浮かべますか。
(単一選択)

n = 1,821

ア	赤レンガ倉庫・ドッグヤードガーデン・汽船道・灯台などかつての港や貿易の様子を偲ばせる建造物	45.0%	820
イ	山手の西洋館や公園・墓地などかつての外国人居留地時代の雰囲気伝える場所	22.5%	409
ウ	「キング」「クイーン」「ジャック」の三塔	15.4%	281
エ	関東大震災前後に建てられた銀行建築などかつての関内地区を思わせる近代建築	8.6%	156
オ	郊外に数多く残る古くからの農村の面影を残す古民家や神社仏閣	2.2%	40
カ	東海道沿いの宿場町の雰囲気を残す街並み	1.8%	32
キ	伊勢佐木町や馬車道・元町などの商店街・ジャズ喫茶など商業文化の発信地	3.9%	71
ク	その他	0.6%	11
無回答		0.1%	1
		100.0%	1,821



その他(抜粋)

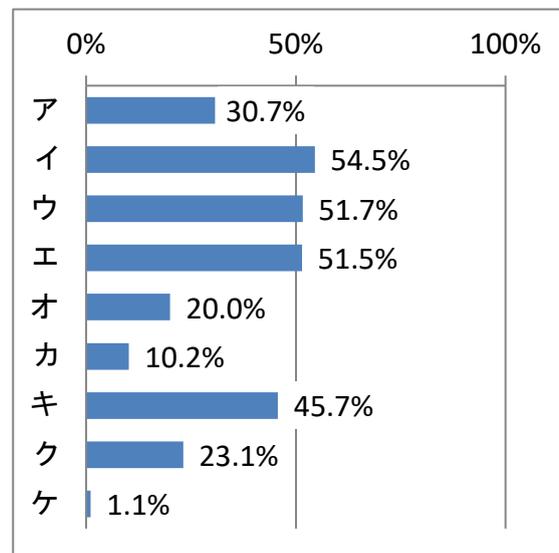
歴史博物館と遺跡公園

選択肢ア～キが絶妙に入り交じっていて、そこに現代・近未来感の感じられる街並みがマッチしているところ。

Q12 横浜には、開港以来の様々な近代技術を生かした歴史的建造物や、開港以前を偲ぶことができる古民家などが残されています。今後このような歴史的な資源を、どのような場所として活用していくと良いと思いますか。
(複数選択可)

n = 1,821

ア	民宿・ホテル・ゲストハウスなど宿泊して歴史を体験できる場所	30.7%	559
イ	ギャラリーや美術館など文化を伝えていく場所	54.5%	993
ウ	歴史博物館や教室など歴史を発信していく場所	51.7%	941
エ	カフェやレストランなど飲食を楽しめる場所	51.5%	938
オ	雑貨屋や書店など買い物ができる場所	20.0%	365
カ	シェアオフィスなど働く場所	10.2%	186
キ	古民家のある公園など自然と触れ合える場所	45.7%	833
ク	ホールや集会場など自由に使える公共的な場所	23.1%	421
ケ	その他	1.1%	20



その他(抜粋)

思いつく限り、何でもトライしてみれば良いと思います。柔軟な発想をカタチにできる力は横浜にあると期待しています。

どのような形でも良いので、街全体で雰囲気、歴史を残すよう努めてほしい。なんでもかんでも建て替え、新築するのはサスティナブルではないし、魅力をひとつずつ消されていくように感じる。

そのままの形で残してほしい。

**Q13 横浜市の都市デザインに関する取り組みについて、ご意見がありましたらご自由にご記入ください。
(自由意見)**

(抜粋)

歴史的建造物は魅力的なので、安易に取り壊したりせずに活用していくことは、今後の横浜市にとってもプラスになると思います。

都市デザイン展にも行きましたが、横浜は本当にデザインされた美しい街だと思いました。その事を知る機会があまりない、または、知られていないので、ガイドツアーなどのイベントをもっと頻繁にやっていただきたいです。

長年住み慣れていて、普段意識していないが、ある時、ここは良いなとか、もっと知りたいと思うことがある。既に、認知されていない場所にも発見があると思う。そういう場所や物を発見し、開発することを望みます。

住・労・遊のバランスが取れている街づくりが基本と考えます。それに沿って「モノ」ではなく「人」からデザイン策定していくべきだと思います。

子供達に、歴史を体験し学ばせたり見せたりする機会を沢山作っていただきたいです。横浜に住んでいても、意外と知らない事や場所があり、親が横浜出身以外の場合は知らないことが多いため、横浜について学べる機会を積極的に提供してほしいです。

観光向けのみなとみらい地区周辺に限らず、生活圏のデザイン性の向上にもっと重点をおいてほしいです。また、生活圏においては、障害を持った方やお年寄り、子育て世代がベビーカーなどでも生活しやすい都市空間とするなど、利便性とデザイン性を兼ねた開発に注力すべきだと思います。

このアンケートで、都市デザインに関する取り組みを実施していることを初めて知りました。今まで以上に市の広報紙などで広報周知を行い、多くの人に知られるようになると良いと思いました。

LEDなどの電光掲示板が街中に増えて、やや落ち着きのない雰囲気のある場所が増えてきているのが気になります。場所にそぐわない装飾には一定の制限を設けるなどして、景観や都市デザインへの影響を少なくする政策を求めたいです。

50周年記念事業の「都市デザイン展」を見学させて頂きました。とても充実した展示で、非常に面白かったです。横浜の都市デザインの経緯や魅力、特に今後は、生活圏の身近な街のデザインについて、私たち市民と連携できるような取り組みがあれば良いと思います。

みなとみらい地区については、立派な街並みになりましたが、もっと緑が多く自然と共存するような街が増えると良いと思います。アリーナ施設などが増えてきていますが、音楽以外の芸術文化もこれからは魅力に繋がると思います。鶴見の沖縄・ブラジルタウン、福富町のコリアンタウンなど、中華街に続く食文化エリアがもっと充実すると良いと思います。

※「交通利便性が良いことのほかに、あなたが「働きたい」と思う街はどのような街ですか」の質問については、選択項目に記載誤りがあったことから、アンケート実施中に非公表とさせていただいたため、集計についても非公表とさせていただいています。